

平成16年度  
中小企業対策関連予算等の概要

平成15年12月  
経済産業省中小企業庁

# 平成16年度 中小企業対策関連予算等の概要

## ．基本的考え方

我が国全体の景気は、一部回復の兆しが見られるものの、中小企業の景況は、一進一退で推移しており、大企業に比べて業況回復の遅れがみられる。また、中小企業を巡る資金供給は依然厳しい状況にある。

このような経済状況の下、やる気と能力ある中小企業に対して円滑な資金供給を確保するとともに、創業や新事業、新分野へ挑戦する中小企業の育成・発展を促し、我が国経済活性化・競争力強化を推進するため、以下の3つの考え方を基本に概算要求及び財政投融资要求を行う。

### (1)金融セーフティネットと再生支援

厳しい経済環境の中で、証券化支援など新しい金融手法への支援を行うとともに、やる気と能力ある中小企業が破綻する事態を回避するため、金融セーフティネット対策に万全を期す。また、中小企業の再生支援の充実を図る。

### (2)挑戦する中小企業への支援

創業・新事業への挑戦を強力に後押しし、経済活性化と雇用拡大の原動力である元気な中小企業を育成するため、技術革新、人材の育成・充実、市場創出等に挑戦する中小企業に対して、強力かつ多面的な支援を行う。

### (3)商店街等の中小商業活性化支援

地方経済の停滞が続き、消費者の選別が厳しくなる等、中小商業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中で、商店街等の中小商業の活性化を図るため、中小事業者の経営革新、新規開業等の自助努力に対して支援を行う。

## . 予算額及び財政投融资計画額

### (1) 概算要求額

平成16年度予算案	補正予算額	15年度予算額
<b>1,305億円</b>	<b>845億円</b> うち財務省計上592億円	1,295億円

### (2) 財政投融资要求額

単位：億円

	16年度計画	15年度当初計画	14年度実績
中小企業金融公庫	注1 19,000	19,000	16,497
国民生活金融公庫 注2	注3 31,500	31,500	26,323
(うちマル経)	5,500	5,500	2,579
商工組合中央金庫	注4 18,500	18,500	18,694

(注1) 予想し難い経済事情の変動その他やむを得ない事情により、計画額に不足が生じる見込みが明らかになった場合には、財投からの借入及び債券限度額について5割を限度に増額することができる(弾力条項)ので、最大25,006億円の貸付規模を確保することが可能。

(注2) 国民生活金融公庫は普通貸付ベース。

(注3) 上記弾力条項に基づき、仮に弾力性の効果を全て普通貸付に振り向ければ、最大で51,805億円の貸付規模を確保することが可能。

(注4) 商工組合中央金庫の貸付規模については、実需に応じ債券発行等による資金調達を的確に行い、所要の規模を確保することが可能。(平成16年度貸付規模計画(長期貸出額のみ)18,500億円)

## 重点項目

# 金融セーフティネットと再生支援

資金繰り等依然厳しい状況の中で、証券化支援など新しい金融手法への支援を行うとともに、やる気と能力ある中小企業が破綻に追い込まれる事態を回避するため、金融セーフティネット対策に万全を期す。また、中小企業の再生支援の充実を図る。

## 1. 金融セーフティネット対策

### セーフティネット保証・貸付等の充実

現下の厳しい経済環境の下、中小企業向け貸付債権の証券化に対する支援を強化するとともに、挑戦する意欲と能力ある中小企業までが経営破綻に追い込まれるような事態を回避するため、引き続き、セーフティネット対策に万全を図る。

	16年度予算案	15年度予算額
セーフティネット保証・貸付等	24.0億円	(12.0億円)
	15年度補正予算	
	845億円	(うち財務省計上592億円)

## 2. 再生支援

### 中小企業再生支援協議会事業

中小企業の再生を一層加速するため、窓口相談、再生計画策定支援業務の強化、再生計画策定後の計画実施のフォローアップの充実等事業の拡充を行うことにより、中小企業再生支援協議会の強化を図っていく。

	16年度予算案	15年度予算額
中小企業再生支援協議会事業	26.7億円	(18.5億円)

# 挑戦する中小企業への支援

我が国の将来を担う、やる気と能力ある中小企業による新事業・分野への挑戦や、個人による創業への挑戦に対して、技術面・人材面・経営面など多面的に後押し、元気な中小企業を育成・支援する。

## 1. 技術革新支援

優れた技術シーズの開花を支援することにより、個人の創業や中小企業の新事業展開に拍車をかけるとともに、中小企業ながら優れた技術力により世界に冠たる地位を有する企業を多数輩出するため、技術開発を強力に推進する。

### (1) 中小・ベンチャー企業のスタートアップ支援（技術シーズ、ビジネスアイデアに対する事業化支援）

実用化開発、技術評価、知的財産取得等に対する資金面での助成とともに、ビジネスプランの具体化・実用化に向けたコンサルティング等を一体的に実施することにより、事業性・新規性の高い技術シーズ、ビジネスアイデアを持つ中小・ベンチャー企業等の事業化を技術面と経営面から強力に支援する。

16年度予算案      15年度予算額

中小企業・ベンチャー挑戦支援事業      33.9億円（新規）

### (2) 中小製造業の戦略的基盤技術開発プロジェクト

我が国製造業の国際競争力を強化するため、基盤的・戦略的分野（金型・ロボット部品分野）の技術開発プロジェクトを推進する。

16年度予算案      15年度予算額

戦略的基盤技術力強化事業      31.7億円（31.9億円）

### (3) 中小企業の創造的技術開発の支援

中小企業による創造的な技術開発による全国レベルの新事業・新分野への進出を強力に支援する。

16年度予算案      15年度予算額

創造技術研究開発事業      30.2億円（30.2億円）

## 2 . 人材の育成・充実の支援

創業や新事業展開を成功させるためには、経営・マーケティング戦略等を構築できる優れた人材の育成・充実が重要。創業予定者や若手後継者に企業経営の能力開発支援を行うとともに、企業や国の研究機関等のOBが有する経営ノウハウや技術力をベンチャー・中小企業に結びつけることで創業や経営革新を支援する。

### (1)人材育成の支援

創業希望者の経験・潜在能力の掘り起こしを行い、企業経営の能力開発支援を行うとともに、先導的な経営革新企業の育成を行うため、人材育成事業の充実を図る。特に創業塾については、創業予定者に加え、新事業展開等を目指す既に事業を営んでいる者や若手後継者等を対象にした、「第二創業コース」を新たに設定し拡充を図る。

	16年度予算案	15年度予算額
創業塾等による人材育成事業	36.7億円	(31.9億円)

### (2)人材の充実(マッチング)支援

中小・ベンチャー企業の事業展開に不足しがちな、経営戦略等を助言する人材(企業等のOB)の掘り起こし等を行い、OB人材を活用し新事業展開を図ろうとする中小企業とのマッチングを支援する。また、我が国中小企業の現地法人等の経営者、技術者等の人材育成を行い、海外事業活動を円滑に展開するための支援を行う。

	16年度予算案	15年度予算額
中小・ベンチャー企業人材マッチング事業	11.4億円	(11.1億円)

### (3)若年者対策

若年者を対象に、カウンセリング、研修、インターンシップ等の一貫したサービスを提供するワストップサービスセンターを整備することにより地域産業の活性化・高度化を図る。また、「体験参加型」起業家教育プログラムの学校現場への普及・定着を図るとともに、総合的な起業支援サービスや実践型インターンシップ事業などを展開し、起業・独立を目指す挑戦者を育成・輩出する。その他、我が国経済を牽引する高度な能力を持った人材育成を図るため、技術経営（MOT）等の我が国経済を牽引する高度な能力を持った人材育成のための環境整備を図る。

16年度予算案 15年度予算額

若年者を対象とした人材支援事業 105.6億円(11.2億円)

## 3.新市場創出支援

潜在力ある優れたビジネスアイデア等を掘り起こし、事業化に結びつけるため、実務的なアドバイス等の経営支援を総合的に行うとともに、外部資源の活用した柔軟な組織の連携による新事業進出等を促進する。また、潜在的に国際優位性を持つと見込まれる商品開発に対して高い評価（ジャパンプランド）を確立するべく、国際的な視点を有する専門家の活用等を図るとともに、国内外の市場への中小企業の進出（販路拡大）を支援する。これらを通じて、中小企業を主体として新たな市場の創出を支援する

### (1)ITを活用した経営革新支援

ITを活用した経営革新を支援するため、地域でモデルとなりうる企業間ネットワーク・システム等の開発・導入を行う中小企業者を支援する。

16年度予算案 15年度予算額

IT活用型経営革新モデル事業 11.8億円(7.0億円)

### (2)新たな連携による新事業進出支援

中小企業の新事業進出等を支援するため、人材、情報、技術等のソフトな経営資源である「人的資産・無形資産」を活用した個人、組合、企業、研究機関、NPOなどによる事業を軸にした新たな連携の形態（フォーメーション事業、パイロット事業）を支援する。

16年度予算案 15年度予算額

新連携対策委託事業 5.5億円(新規)

### (3) 中小・ベンチャー企業のスタートアップ支援（技術シーズ、ビジネスアイデアに対する事業化支援） [再掲]

実用化開発、技術評価、知的財産取得等に対する資金面での助成とともに、ビジネスプランの具体化・実用化に向けたコンサルティング等を一体的に実施することにより、事業性・新規性の高い技術シーズ、ビジネスアイデアを持つ中小・ベンチャー企業等の事業化を、技術面と経営面から強力に支援する。

16年度予算案      15年度予算額

中小企業・ベンチャー挑戦支援事業      33.9億円（新規）

### (4) JAPANブランド育成支援事業

個別の企業が各地域の特性等を生かした製品等の価値をさらに高めたり、地域の企業集積においてその構造改革を促進することにより、海外を含む広域マーケットにも通じる各企業や地域に対する高い評価を確立すべく、各商工会・商工会議所において、地域企業等をコーディネートしつつ行う、マーケットリサーチ、新商品開発、デザイン開発、展示会出展等のプロジェクトについて総合的な育成支援を行う。（海外市場展開等に係るサポートについては、JETROと緊密に連携して実施）

16年度予算案      15年度予算額

JAPANブランド育成支援事業      9.3億円（新規）

### (5) 海外展開を通じた販路拡大支援

海外市場との取引拡大のため、輸出関連相談から個別商談のマッチングまでビジネス活動の各段階での企業ニーズに即した支援を行う。また、自社ブランドでは国際競争が確立されていないが、技術力、デザイン力等を有する中堅中小企業について「ジャパンブランド」として海外取引を促進するため、国際見本市への参加等に対する支援を行う。

16年度予算案      15年度予算額

輸出支援事業      9.1億円（3.4億円）

## (6) ビジネスフェア等による販路拡大等支援

交流会、展示会等の開催により、経営革新、新事業の創出に取り組む中小企業・ベンチャー企業群の創出や経営革新法承認企業間等のネットワークの構築を図るとともに、経営革新、新事業の創出に取り組む中小企業・ベンチャー企業の販路拡大、資金調達等を支援する。

	16年度予算案	15年度予算額
経営革新・創業支援事業	4.3億円	(2.9億円)

## **商店街等の中小商業活性化支援**

現下の厳しい地方経済の状況の中で、中小商業の活性化を図るため、商業関係者の人材育成、新規創業、大型空き店舗対策等に対する支援を行う。

### (1) 商店街等が行う中小商業活性化に対する総合支援

中心市街地等の中小商業活性化を図るため、TMO事業の推進を担う専門人材確保、創業人材育成（商人塾）に対する支援を行う。また、TMO、商店街振興組合等が行う、商業基盤施設等の整備や、チャレンジショップ、コミュニティ施設の運営等のソフト事業を総合的に支援する。

商店街等における商業基盤施設の整備、ソフト支援事業、人材支援	16年度予算案	15年度予算額
	37.0億円	(32.4億円)

### (2) 大型空き店舗対策支援

大型空き店舗を賃借して新規商業店舗等を適正に配置し、魅力ある商業施設を実現する際に、賃借料や改装費、テナント運営等の専門家派遣に必要な経費を最長3年間支援（16年度からは、大型空き店舗の活用と併せて、大型空き店舗と近接する商店街における駐車場整備などの事業も支援）。

	16年度予算案	15年度予算額
大型空き店舗活用支援事業	3.5億円	(2.5億円)

(注) 印は来年7月に設立される独立行政法人中小企業基盤整備機構への交付金を含む。